

## 注 意 事 項

1. 試験問題の数は55問で解答時間は正味1時間20分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
  - (1) (例1)、(例2)及び(例3)の問題では1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。

なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には、1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

101 助産業務を行うことが可能となるのはどれか。

1. 国家試験受験日以降
2. 合格発表日以降
3. 合格証書受領日以降
4. 助産師籍登録日以降

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

|     |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|
| 101 | ① | ② | ③ | ④ |
|     |   |   | ↓ |   |
| 101 | ① | ② | ③ | ● |

答案用紙②の場合、

|     |     |
|-----|-----|
| 101 | 101 |
| ①   | ①   |
| ②   | ②   |
| ③   | ③   |
| ④   | ●   |

→

(例 2)

102 保健師助産師看護師法が制定された年はどれか。

1. 明治 32 年(1899 年)
2. 大正 4 年(1915 年)
3. 昭和 23 年(1948 年)
4. 昭和 43 年(1968 年)
5. 平成 13 年(2001 年)

正解は「3」であるから答案用紙の ③ をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

|     |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|
| 102 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|     |   |   | ↓ |   |   |
| 102 | ① | ② | ● | ④ | ⑤ |

答案用紙②の場合、

|     |     |
|-----|-----|
| 102 | 102 |
| ①   | ①   |
| ②   | ②   |
| ③   | → ● |
| ④   | ④   |
| ⑤   | ⑤   |

(例 3)

103 助産師籍に登録されるのはどれか。2 つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の ① と ⑤ をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

|     |   |   |   |   |   |
|-----|---|---|---|---|---|
| 103 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ |
|     |   |   | ↓ |   |   |
| 103 | ● | ② | ③ | ④ | ● |

答案用紙②の場合、

|     |     |
|-----|-----|
| 103 | 103 |
| ①   | ●   |
| ②   | ②   |
| ③   | → ③ |
| ④   | ④   |
| ⑤   | ●   |

- (2) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

**104** 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答： ① ② %

- |   |   |
|---|---|
| ① | ② |
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

正解は「90」であるから①は答案用紙の○9を②は○0をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

|     |   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 104 | ① | ○0 | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ●  |
|     | ② | ●  | ○1 | ○2 | ○3 | ○4 | ○5 | ○6 | ○7 | ○8 | ○9 |

答案用紙②の場合、

|     |    |    |
|-----|----|----|
| 104 | ①  | ②  |
|     | ○0 | ●  |
|     | ○1 | ○1 |
|     | ○2 | ○2 |
|     | ○3 | ○3 |
|     | ○4 | ○4 |
|     | ○5 | ○5 |
|     | ○6 | ○6 |
|     | ○7 | ○7 |
|     | ○8 | ○8 |
|     | ●  | ○9 |







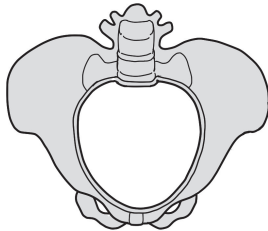
1 性的暴力について正しいのはどれか。

1. 性的暴力は心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉のリスク因子になる。
2. 性的暴力の被害者支援の原則は性被害の詳細な聞き取りである。
3. 交際相手との間の不同意性交は性的暴力にあたらない。
4. 性的暴力の加害者は、全く知らない人が最も多い。

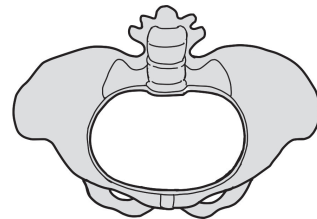
2 骨盤入口面の形態を図に示す。

女性型はどれか。

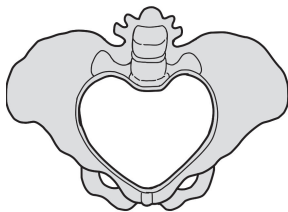
1.



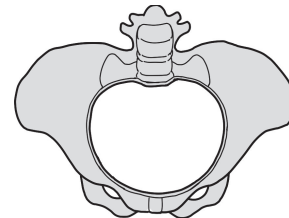
2.



3.



4.



3 乳癌の自己検診で正しいのはどれか。

1. 年1回行う。
2. 触診は立位で行う。
3. 視診は鏡に映して行う。
4. 視診は片腕を上げた姿勢で行う。

4 卵巣過剰刺激症候群について正しいのはどれか。

1. 出血傾向となる。
2. 血管透過性が低下する。
3. プロゲステロンの上昇によって発症する。
4. hCG〈ヒト絨毛性ゴナドトロピン〉製剤の投与が発症の契機となる。

5 妊娠に伴う呼吸数と機能的残気量の変化の組合せで正しいのはどれか。

- | 呼吸数      | 機能的残気量 |
|----------|--------|
| 1. 増加する。 | 増加する。  |
| 2. 増加する。 | 低下する。  |
| 3. 低下する。 | 増加する。  |
| 4. 低下する。 | 低下する。  |

6 在胎 20 週ころの胎児の形態と発育の説明で正しいのはどれか。

1. 開眼する。
2. 頭髪が認められる。
3. 皮膚の透明度が増す。
4. 老人様顔貌が消失する。

7 発育・発達が順調な乳幼児の社会性の発達の評価において、人見知りが始まる時期に最も近いのはどれか。

1. 生後 2 か月
2. 生後 6 か月
3. 生後 12 か月
4. 生後 18 か月

8 クラウス, M. H. とケネル, J. H. が提唱した母子相互作用で生じるエントレインメントにおける新生児の行動で正しいのはどれか。

1. 母親があやすと笑う。
2. 母親の行動を目で追いかける。
3. 母親の話しかけに反応するように同調して自分の身体を動かす。
4. 母親が指で新生児の手掌に触れると新生児は母親の指を握りしめる。

9 分娩予定日の算出で正しいのはどれか。

1. 人工授精の施行日に 280 日を加える。
2. 基礎体温の高温相の 2 日目に 266 日を加える。
3. 体外受精・新鮮胚移植の採卵日に 266 日を加える。
4. hMG-hCG 療法の hCG〈ヒト絨毛性ゴナドトロピン〉製剤投与日に 280 日を加える。

10 A さん (38 歳、初産婦) は妊娠 28 週に妊婦健康診査のため来院した。身長 162 cm、体重 69 kg (非妊時体重 62 kg)、血圧 128/62 mmHg、尿蛋白 (―)、尿糖 (―)、子宮底長 24 cm。超音波検査で子宮頸管長 38 mm。A さんは「夕方おなかが張ることがあるが、痛みはなく少し座っているとおさまります」と話す。

このときの A さんの状態のアセスメントで正しいのはどれか。

1. 子宮頸管長の短縮が認められる。
2. 子宮底長は妊娠週数に比べて小さい。
3. 体重増加量が推奨基準を逸脱している。
4. Braxton-Hicks〈ブラクストン-ヒックス〉収縮が出現している。

11 双胎妊娠について正しいのはどれか。

1. 二絨毛膜双胎は二卵性双胎と診断する。
2. 胎嚢が2つあれば二絨毛膜双胎と診断する。
3. 単胎妊娠に比べて胎児形態異常の発生頻度は低い。
4. 膜性診断ができない場合は二絨毛膜双胎として管理する。

12 Aさん(32歳、初産婦)は陣痛開始から12時間が経過した。このときの内診所見は、子宮口7cm開大、展退度80%、Station ±0、小泉門は触れず、大泉門が先進部として触れた。

この場合に予測される骨盤通過面はどれか。

1. 小斜径周囲面
2. 前後径周囲面
3. 大斜径周囲面
4. 気管頭頂径周囲面

13 養親となることを希望している者への特別養子縁組制度の説明で正しいのはどれか。

1. 「養親は育児休業を取得できません」
2. 「実親が育てたいと言った場合は、実親の元に戻ります」
3. 「原則、養子になった子どもとの親子関係は解消できません」
4. 「将来子どもが戸籍を見ると、養子であることが分かります」

14 母体の致死率が高く、妊娠を避けるべき循環器系の病態はどれか。

1. 肺高血圧症
2. 肺血栓塞栓症の既往
3. 心室中隔欠損症の修復後
4. NYHA 心機能分類Ⅰ度の心不全

15 妊娠糖尿病の妊娠管理で正しいのはどれか。

1. 食事療法として2分食を指導する。
2. 薬物療法としてインスリン療法を行う。
3. 薬物療法として経口血糖降下薬を内服する。
4. 食前血糖 120 mg/dL 以下を目指して指導する。

16 A ちゃん(4歳、男児)は幼稚園通園中である。有意語の発語が少なく指示が通じにくい、ごっこ遊びをしない、興味を持つおもちゃが限定されている、といった特徴から自閉スペクトラム症と診断されている。最近、不機嫌になって対応に困ることが多くなり、両親はA ちゃんとの関わり方に悩んでいる様子である。

児への関わり方の指導で適切なのはどれか。

1. 遊びの場になるべく多種類のおもちゃを置いておく。
2. 興奮状態になった場合は1人になれる場所に誘導する。
3. A ちゃんに理解できないことは明確な言葉で繰り返し伝える。
4. A ちゃんの機嫌をみてその日のスケジュールをこまめに変更する。

17 低出生体重児について正しいのはどれか。

1. 令和3年(2021年)の低出生体重児の割合は全出生の5%である。
2. 低出生体重児の予後は在胎週数と関連しない。
3. 3歳までに成長曲線を上回る。
4. 成人後の肥満に関連がある。

18 高校2年生を対象に、将来の妊娠も視野に入れた健康づくりをテーマに助産師が健康教育を行うことになった。

説明で適切なのはどれか。

1. 「バランスのよい食事で適正な体重を維持しましょう」
2. 「スポーツは1日60分、1週間300分を目安に行いましょう」
3. 「結婚したら、女性は速やかにかかりつけの婦人科医院をつくりましょう」
4. 「幼児期に風しんワクチンを受けていても妊娠初期に再度接種しましょう」

19 A病院は母体・胎児集中治療室〈MFICU〉を持たない総合病院である。

A病院の産科病棟の管理で正しいのはどれか。

1. 空床に他科の患者を受け入れることができる。
2. 助産師の配置人数は診療報酬で規定されている。
3. 母児同室をする病室の床面積は診療報酬で規定されている。
4. 正常新生児6名に1名の看護職員を配置しなければならない。

20 出産扶助について適切なのはどれか。

1. 自宅分娩は支給対象外である。
2. 分娩介助費は実費で支給される。
3. 分娩前の処置は支給対象ではない。
4. 分娩後の衛生材料は現物支給される。

21 RhD 式血液型不適合妊娠で胎児水腫が認められた。

このとき、胎児水腫を引き起こした免疫グロブリンはどれか。

1. IgA
2. IgD
3. IgE
4. IgG
5. IgM

22 発熱を主訴に母乳外来を再診した産後 4 週の母親。産科医師の診察でインフルエンザと診断され、抗インフルエンザウイルス薬(オセルタミビルリン酸塩)が処方された。

今後の授乳について助産師の説明で適切なのはどれか。

1. 「人工乳を補足しましょう」
2. 「内服前に授乳しましょう」
3. 「今までどおり授乳しましょう」
4. 「搾乳した母乳を飲ませましょう」
5. 「一度冷凍した母乳を解凍して飲ませましょう」

23 避妊指導における GATHER 法の説明で正しいのはどれか。

1. 集合教育の手法である。
2. 全ての要素を順番に行う必要がある。
3. 緊急避妊薬の指導に特化した手法である。
4. 対象者の年齢に関係なく同じ情報を提供する。
5. 避妊指導におけるカウンセリング手法である。

24 新生児真性メレナの原因はどれか。

1. 壊死性腸炎
2. 母体血の嚥下
3. 急性胃粘膜病変
4. ミルクアレルギー
5. ビタミン K の欠乏

25 重篤な新生児黄疸による急性ビリルビン脳症の第 1 期に認められる臨床症状はどれか。

1. 眼 振
2. 眼瞼下垂
3. 後弓反張
4. 胆汁性嘔吐
5. Moro〈モロー〉反射の減弱

26 A 助産師は、3 年前に助産所を開設し、セミオープンシステムを導入している。半年前から、妊婦と子育て中の母親が交流できる子育てサロンを新たに開始した。A 助産師は、妊産婦に助産所をより広く周知するためにホームページを見直すことにした。

助産所のホームページに掲載が禁止されているのはどれか。

1. A 助産師がサロンに参加した母親に依頼した体験談の記事
2. セミオープンシステムの説明
3. 子育てサロンの開催日時
4. 助産所の分娩費用
5. 嘱託医師の氏名

27 閉経以降の女性に生じる身体変化の特徴で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 骨吸収は低下する。
2. 骨形成は低下する。
3. 中性脂肪は上昇する。
4. HDL コレステロールは上昇する。
5. LDL コレステロールは上昇する。

28 性染色体の数の異常を示すのはどれか。2つ選べ。

1. アンドロゲン不応症
2. Turner〈ターナー〉症候群
3. Sheehan〈シーハン〉症候群
4. Rokitansky〈ロキタンスキー〉症候群
5. Klinefelter〈クラインフェルター〉症候群

29 尖圭コンジローマについて正しいのはどれか。2つ選べ。

1. リンパ節腫脹を生じる。
2. 血液検査によって診断する。
3. 治療には抗菌薬を内服する。
4. 予防法としてワクチン接種がある。
5. 外陰部の病変には外用薬を塗布する。

30 羊膜で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 血管がない。
2. 羊水を分泌する。
3. 胎生 42 日目に形成される。
4. エストロゲンが分泌される。
5. 子宮内膜から分化したものである。

31 母性健康管理指導事項連絡カードについて正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 母体保護法に規定されている。
2. 措置が必要となる症状に産後の不安がある。
3. 措置が必要な期間を延長する場合は新たに発行する。
4. 必要な措置を講じることは事業主の努力義務である。
5. 女性従業者は診断書を添えて事業主に必要な措置を申請する。

32 Aさん(40歳、初産婦)は、骨盤位のため38週0日に帝王切開で分娩する方針になった。非妊時のBMI 30、喫煙者であることから、静脈血栓塞栓症の発症を予防するため、術後に抗凝固療法が予定されている。

Aさんに手術後に行う対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 直接授乳の中止
2. 臥床時の頭部挙上
3. 3日間のベッド上安静
4. 間欠的空気圧迫法の実施
5. 初回歩行時の助産師の付き添い

33 Aさん(25歳、初産婦)は、10年前にてんかんと診断され、抗てんかん薬の内服で現在の病状は安定している。妊娠38週0日で3,800gの男児を経膣分娩で出産した。羊水混濁なし、Apgar〈アプガー〉スコアは1分後8点、5分後9点であった。児は生後2時間、啼泣時に軽度の下顎、四肢のふるえがみられる。努力呼吸や心雑音はない。体温37.0℃、呼吸数50/分、心拍数140/分、血圧60/40 mmHg、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO<sub>2</sub>〉98%(room air)である。

この児で今後、気を付けなければならないのはどれか。2つ選べ。

1. 離脱症候群
2. 新生児低血糖
3. 先天性心疾患
4. 胎便吸引症候群
5. 新生児一過性多呼吸

34 乳児家庭全戸訪問事業〈こんにちは赤ちゃん事業〉について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 実施主体は都道府県である。
2. 訪問の担当者には子育て経験者が含まれる。
3. 育児相談や子育て支援に関する情報提供を行う。
4. 対象は生後6か月までの乳児がいる全家庭である。
5. 児童虐待の防止等に関する法律〈児童虐待防止法〉に基づき実施される。

35 保健師助産師看護師法に記載されている助産師の義務はどれか。2つ選べ。

1. 就業の届出
2. 出生証明書の交付
3. 受胎調節実地指導
4. 新生児の訪問指導
5. 助産所開設時の届出

次の文を読み 36～38 の問いに答えよ。

A さん(25 歳、女性、会社員)は、2 日前に市販の妊娠反応検査薬が陽性だったため、産婦人科クリニックを受診した。学生時代からマラソンを続け、現在も社会人選手として毎日トレーニングをしている。

身体所見：身長 162 cm、体重 43 kg。

月経周期：初経は 17 歳だったが、周期は不規則で 1 年近く無月経だったこともある。

超音波検査所見：子宮内に 10 mm の胎嚢は確認できたが、胎芽・胎児 および心拍動は確認できず、受胎日も特定できなかった。

36 A さんへの助産師の説明で適切なのはどれか。

1. 「妊娠 12 週までは胎児心拍の確認は難しいです」
2. 「次の診察までは安静にしてください」
3. 「市販薬は飲んでも大丈夫です」
4. 「10 日後に受診してください」

37 その後、Aさんは胎児心拍が確認されて順調な妊娠経過をたどった。妊娠32週の妊婦健康診査で助産師外来を受診したAさんは「最近、赤ちゃんがよく動くんです。そのたび下腹が張ってトイレに行きたくなります」と話している。助産師がLeopold〈レオポルド〉触診法を行った。

触診の所見：第1段 子宮底に浮球感がある。

第2段 母体左側に児背がわずかに触れる。羊水量は中程度。右臍棘線中央付近で胎児部分を触れ、胎動に伴って腹部に弱い緊張感が出現する。

第3段 子宮底より小さく胎児部分を触れる。

第4段 骨盤内へ胎児部分の嵌入はない。

この所見から助産師が行う生活上の助言で最も適切なのはどれか。

1. 「キーゲル体操をやってみましょう」
2. 「帝王切開になる可能性も考えておきましょう」
3. 「休むときは右側を下にして横になりましょう」
4. 「冷えを防止するために靴下は2枚履きましょう」

38 Aさんは無事に分娩予定日を迎えた。40週1日から前駆陣痛があったが不規則になったため自宅で過ごし、40週3日の早朝に規則的な陣痛が発来して入院した。入院時のビショップスコアは5点。5時間が経過した正午、陣痛は4～5分間隔。陣痛持続時間は1分。胎児心拍数陣痛図はreassuring fetal status。内診所見は、子宮口3cm開大、展退度60%、Station -1、子宮口硬度やや軟、子宮口位置中央、分泌物なし。Aさんはやや疲れた様子で、陣痛間欠時にうとうとしている。

助産師の判断した分娩時期で適切なのはどれか。

1. 分娩開始前である。
2. 分娩第1期の潜伏期である。
3. 分娩第1期の加速期である。
4. 分娩第1期の極期である。

次の文を読み 39～41 の問いに答えよ。

A さん(36 歳、初妊婦)は、夫 B さん(44 歳)と 2 人暮らしである。妊娠 15 週 3 日の妊婦健康診査で来院した。妊娠経過は順調である。診察時、A さんは頭痛、食欲不振、疲労感、不眠を訴えた。さらに、助産師に「妊娠は、夫が強く望んでいたんです。実の母との関係はうまくいっていないので、子育てを手伝ってもらおうとは思っていないです」と話した。

39 このときの A さんへの助産師の対応で適切なのはどれか。

1. 妊娠への思いについて表出を促す。
2. 実母に子育ての相談をするように提案する。
3. 妊娠を喜ぶ夫の気持ちに寄り添うように励ます。
4. 身体的な症状はマイナートラブルであり軽減すると説明する。

40 A さんは妊娠 28 週に、不眠、集中力の減退によって日常の生活が困難となり、うつ病と診断された。精神科医師から薬物療法のメリットとデメリットが A さん夫婦に説明され、A さんは抗うつ薬の内服を開始した。その 1 週間後から、A さんの支援のために、定期的に、担当の助産師と産科医師、精神科医師、精神科看護師、保健センター保健師による連携会議を行うことになった。

初回の会議で共有すべき情報として優先度が高いのはどれか。

1. A さんの病状
2. 実母との関係
3. 家族の支援状況
4. 利用できる保健サービス

41 妊娠 34 週の妊婦健康診査で、産科医師から A さんに経膣分娩が可能であると説明された。うつ病については内服治療を継続しており、症状はコントロールされている。その後、A さんから「母親学級に参加しバースプランについて知りました。でも、陣痛の痛みに耐えられるのか、うつ病の薬を飲んでいても、生まれてすぐに赤ちゃんにおっぱいを吸わせていいのか、イメージできないことが多いです。夫は、出産に立ち会うことに乗り気ではないみたいです」という訴えがあった。そこで、担当の助産師は、A さんにバースプランを作成することを提案した。

バースプランを作成するにあたり、助産師が A さんへ情報提供する内容で適切なのはどれか。

1. 「分娩室では、B さんの協力が必要です」
2. 「お産のときは眠らないように工夫しましょう」
3. 「うつ病の場合は、無痛分娩は勧められません」
4. 「分娩室で、赤ちゃんにおっぱいを吸わせることができます」

次の文を読み 42～44 の問いに答えよ。

A さん(32 歳、初産婦)は、妊娠 39 週 6 日、規則的な子宮収縮と痛みを自覚し、午前 3 時に分娩予定の産婦人科を受診した。胎児は頭位、子宮口 5 cm 開大、展退度 80 %、Station -1。無痛分娩を希望し、硬膜外麻酔により痛みが緩和された。午前 11 時に子宮口全開大、Station +4、午後 2 時に子宮口全開大、Station +4、矢状縫合は縦で小泉門が 0 時方向に触れる。分娩停止の適応で鉗子遂娩術が実施されることになった。

42 このときに必要な対応はどれか。

1. 浣 腸
2. 導 尿
3. 子宮底圧迫法
4. 硬膜外麻酔の中止

43 A さんは午後 2 時 15 分に 2,952 g の女児を鉗子分娩で出産し、午後 2 時 20 分に胎盤が娩出された。胎盤が娩出された直後より、暗赤色の血液が腔内から吹き出した。子宮は軟らかく子宮底の触知が困難である。

まず行うべき処置はどれか。

1. 子宮双手圧迫法
2. 子宮動脈塞栓術
3. 子宮内容除去術
4. 子宮腔内バルーンタンポナーデ

44 Aさんの出血は止まり、会陰切開部の縫合が行われた。午後6時、助産師が訪室すると「お尻のあたりが痛いです。便がしたい感じもあります」と訴えて顔をしかめている。会陰部は軽度腫脹がみられるが、縫合不全はなく、パッドへの悪露の付着は少量である。

このときの助産師の対応で正しいのはどれか。

1. 内診をする。
2. トイレで排便を促す。
3. 鎮痛薬の処方を医師に依頼する。
4. 子宮収縮薬の処方を医師に依頼する。

次の文を読み 45～47 の問いに答えよ。

A さん(38 歳、初産婦)は妊娠 39 週 0 日、胎児機能不全のため緊急帝王切開を受け、男児(B ちゃん)を出産した。羊水混濁は認めなかった。児は生後 20 秒で手術台から蘇生台に到着したが全身にチアノーゼを認め、啼泣はなく、筋緊張の低下が認められた。

45 蘇生の初期処置で必要なのはどれか。2 つ選べ。

1. 胸骨圧迫
2. 酸素投与
3. 皮膚乾燥
4. 口腔内吸引
5. 経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO<sub>2</sub>〉モニター装着

46 B ちゃんはマスクを用いた持続的気道陽圧〈CPAP〉療法を受けて呼吸状態は改善したが、呼吸補助療法が中止できないためマスクを用いた持続的気道陽圧〈CPAP〉を継続しつつ NICU に入院して閉鎖式保育器に収容された。入院時のバイタルサインは、体温 36.9℃、呼吸数 90/分、心拍数 160/分、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO<sub>2</sub>〉97%(room air)であった。

入院直後の呼吸を補助するためのケアで正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 上体の挙上
2. 母乳の哺乳
3. 足底の皮膚刺激
4. 胃管から胃内吸引
5. バッグマスク換気

47 B ちゃんは NICU 入院後、保育器内で経鼻的持続気道陽圧呼吸療法〈CPAP〉(吸入酸素濃度 25 %)を装着し、末梢静脈路が確保されてブドウ糖液による輸液を開始された。

輸液療法開始後早期に静脈内投与されるのはどれか。

1. ビタミン K
2. アドレナリン
3. 塩化カリウム
4. 無水カフェイン

次の文を読み 48、49 の問いに答えよ。

A さん(35 歳、初妊婦)は、妊娠 20 週 0 日である。身長 160 cm、体重 60 kg(非妊時体重 57 kg)、仕事は IT 関係の会社で週 5 日デスクワークをしている。本日、助産師外来を受診し「姉が妊娠糖尿病だったので私もそうなるのではないかと心配している。つわりがおさまってから食欲が旺盛で食べ過ぎてしまう。どれくらい食べても大丈夫なのか相談したい」と話す。妊娠初期の随時血糖は 92 mg/dL、ヘモグロビン A1c<HbA1c>は 5.2 % であった。

48 現在の A さんの推定エネルギー必要量で適切なのはどれか。

1. 1,700 kcal/日
2. 1,900 kcal/日
3. 2,100 kcal/日
4. 2,300 kcal/日
5. 2,500 kcal/日

49 Aさんは妊娠26週0日になった。前回の妊婦健康診査受診時に実施した50gGCTが156mg/dLだった。本日の妊婦健康診査では、尿糖＋、ヘモグロビンA1c〈HbA1c〉5.4%、75gOGTTは空腹時血糖90mg/dL、1時間値195mg/dL、2時間値148mg/dLであり、妊娠糖尿病と診断された。

妊娠糖尿病の診断基準に当てはまる結果はどれか。

1. 尿 糖
2. 空腹時血糖
3. 75gOGTT 1時間値
4. 75gOGTT 2時間値
5. ヘモグロビン A1c〈HbA1c〉

次の文を読み 50、51 の問いに答えよ。

A さん(38 歳、初産婦)は、妊娠 41 週 0 日、身長 152 cm、体重 80 kg(非妊時体重 72 kg)である。午前 4 時に陣痛発来し、午前 7 時に入院した。現在は入院から 1 時間が経過し、陣痛間欠 8 分、陣痛発作 30 秒、胎児心拍数陣痛図は reassuring fetal status である。体温 36.6℃、脈拍 78/分、血圧 134/80 mmHg。尿蛋白(－)、尿糖(－)、Seitz〈ザイツ〉法(±)。妊娠 40 週 3 日の妊婦健康診査で推定胎児体重 3,500 g、BPD 9.7 cm、AFI 12.0 cm であった。

50 このときの助産診断で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 過期産である。
2. 巨大児と推定される。
3. 遷延分娩のリスクが高い。
4. 妊娠高血圧症候群である。
5. 胎児の健康状態は良好である。

51 Aさんは子宮口6cm開大後、陣痛促進のためオキシトシン点滴静脈内注射が開始された。その後、順調に分娩が進行し、子宮口全開大から1時間30分で児頭まで娩出した。引き続き前在肩甲娩出術を試みたが娩出しない。

このときの対応で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 子宮底部を圧迫する。
2. 強く児頭を牽引する。
3. 恥骨上縁圧迫法を行う。
4. オキシトシンを増量する。
5. McRoberts〈マックロバーツ〉体位をとらせる。

次の文を読み 52、53 の問いに答えよ。

A さん(39 歳、初産婦)は、妊娠 28 週時の妊婦健康診査にて羊水が多いことを指摘され、妊娠 29 週 0 日に総合周産期母子医療センターである B 病院を紹介受診した。超音波検査にて推定胎児体重は 1,150 g(−1.2 SD)、AFI 32 cm、小脳低形成、先天性心疾患、食道閉鎖症の疑いなどの所見が認められた。A さんは、胎児に染色体異常がある可能性について担当医師から説明を受け、出生前検査を希望した。

52 このときに行われる出生前検査はどれか。

1. 絨毛検査
2. 羊水検査
3. 母体血清マーカー検査
4. 非侵襲的出生前遺伝学的検査〈NIPT〉

53 Aさんは、妊娠33週0日の妊婦健康診査にて「息苦しくて横になれない。食べても吐いてしまう。お腹の張りが頻回にある」と訴え、入院管理となった。超音波検査にて推定胎児体重は1,630 g(−1.5 SD)、AFI 45 cm、子宮頸管長 33 mm である。胎児心拍数陣痛図は、胎児心拍数基線 140 bpm、基線細変動 10 bpm、一過性頻脈を認め、一過性徐脈を認めない。子宮収縮を不規則に認める。

Aさんへの治療で正しいのはどれか。

1. 羊水除去
2. 酸素の投与
3. 利尿薬の投与
4. 子宮収縮抑制薬の投与

次の文を読み 54 の問いに答えよ。

A さん(38 歳、女性、会社員、経産婦)は身長 162 cm、体重 82 kg、BMI 31.2、血圧 165/95 mmHg、毎日たばこを 10 本吸っている。1 年前から月経痛が強くなってきたため婦人科を受診した。「仕事が忙しいので毎日薬を飲むのは困る」と話す。内診で骨盤内感染症が疑われた。A さんは月経痛に対して、レボノルゲストレル放出子宮内システム(LNG-IUS)を希望したが、挿入されなかった。

54 A さんにレボノルゲストレル放出子宮内システム(LNG-IUS)を挿入できない理由はどれか。

1. 肥 満
2. 高血圧
3. 喫煙習慣
4. 骨盤内感染症の疑い

次の文を読み 55 の問いに答えよ。

A さん(32 歳、初産婦)は妊娠 30 週 3 日で、夫と実母の 3 人暮らしである。助産師が担当している保健センターの相談室に来所した。A さんは「産後は母が手伝ってくれると言っていますが、産後ケアについても知っておきたいです」と話した。助産師は、産後ケア事業について説明することにした。

55 A さんへの説明で適切なのはどれか。

1. 「産後 2 年以内に利用してください」
2. 「宿泊の場合は全額自費になります」
3. 「育児に関する指導を受けることができます」
4. 「お母さんと同居していると利用できません」









